

授業名	京都文化特論（京の道）			開講学年	2回生	単位数	2単位	科目コード	
英文名				開講時期	秋学期	必修選択	必修選択	選択	
担当者	工藤 美和子			対象学生	歴史2回生				
授業の概要	大学のある東山地域に焦点をしぼり、八坂神社、知恩院、平安神宮、清水寺への参詣路の歴史と特質について文献史料や絵画史料、近世の地誌などを用いて授業を行います。								
学修成果到達目標	1) 東山の歴史や文化を知り、理解を深めることができる。 2) 八坂神社、知恩院、平安神宮の歴史とそこにいたる参詣路の歴史と文化について知ることができる。 3) 文献史料や絵画史料などを用いた研究方法や視点の置き方を学ぶことができる。								
学位授与の方針との関連	知識・理解			汎用的技能					
	態度・志向性			総合的な学習経験と創造的思考力					
アクティブ・ラーニング対象授業	PBL 実習・フィールドワーク		ディスカッション・ディベート ICT活用（双方向型授業）		グループワーク ICT活用（自主学習支援）		プレゼンテーション		
評価方法	定期試験 ( 80 % )	筆記試験 口述	レポート 実習	制作物 実技	平常試験 ( 20 % )	筆記試験 口述	レポート 実習	制作物 実技	
評価基準	主たる評価の観点	知識・理解 授業態度・参加意欲	コミュニケーション能力 (	プレゼンテーション能力 )	課題発見・解決能力 (				)
テキスト	特に指定しません。授業内で資料を配付します。								
参考書	授業内で指示します。								
課題に対するフィードバックの方法	提出されたレポートはコメントを付けて返却します。								
留意事項	授業で紹介した場所をできるだけ散策してください。								
オフィスアワー	研究室に日時を貼付するので確認してください。								
実践的教育									

授 業 名		京都文化特論 (京の道)
授 業 計 画	学修項目	学修内容・課題
第1回	ガイダンス	(学修内容) 授業の進め方について説明します。  (事前事後学修課題の内容) (30分) 授業内容をまとめておく。
第2回	東山の歴史と環境	(学修内容) 東山全体の歴史や環境を学びます。  (事前事後学修課題の内容) (60分) 『京都市の地名』(日本歴史地名大系27)を用いて、東山について調べる。
第3回	八坂神社への参詣路 四条通	(学修内容) 八坂神社の成立と四条通を学びます。  (事前事後学修課題の内容) (60分) 『京都市の地名』を用いて、四条通について調べる。
第4回	八坂神社への参詣路 花見小路と花街	(学修内容) 花見小路と花街文化を学びます。  (事前事後学修課題の内容) (60分) 『京都市の地名』を用いて、花見小路について調べる。
第5回	八坂神社参詣路 円山公園	(学修内容) 円山公園成立の歴史の変遷を学びます。  (事前事後学修課題の内容) (60分) 『京都市の地名』を用いて、円山公園について調べる。
第6回	学外授業 円山公園	(学修内容) 円山公園で学外授業を行います。  (事前事後学修課題の内容) (60分) 学外授業後に小レポートを課すので提出する。
第7回	知恩院への参詣路 古門前通	(学修内容) 知恩院の成立と古門前通を学びます。  (事前事後学修課題の内容) (60分) 『京都市の地名』を用いて、知恩院について調べる。
第8回	知恩院への参詣路 新門前通	(学修内容) 新門前通を学びます。  (事前事後学修課題の内容) (60分) 『京都市の地名』を用いて、新門前通について調べる。
第9回	平安神宮への参詣路 神宮道	(学修内容) 平安神宮の成立と神宮道を学びます。  (事前事後学修課題の内容) (60分) 『京都市の地名』を用いて、平安神宮について調べる。
第10回	平安神宮への参詣路 仁王門通	(学修内容) 仁王門通を学びます。  (事前事後学修課題の内容) (60分) 『京都市の地名』を用いて、仁王門通について調べる。
第11回	学外授業 平安神宮	(学修内容) 平安神宮で学外授業を行います。  (事前事後学修課題の内容) (60分) 授業内容をまとめておく。
第12回	清水寺への参詣路 清水坂	(学修内容) 清水寺と清水坂を学びます  (事前事後学修課題の内容) (60分) 『京都市の地名』を用いて、清水寺と清水坂について調べる。
第13回	清水寺への参詣路 産寧坂・二年坂	(学修内容) 産寧坂・二年坂を学びます。  (事前事後学修課題の内容) (60分) 『京都市の地名』を用いて、産寧坂と二年坂について調べる。
第14回	清水寺への参詣路 五条坂	(学修内容) 五条坂について学びます。  (事前事後学修課題の内容) (60分) 『京都市の地名』を用いて、五条坂について調べる。清水寺参詣路を1つ選び、調べたことを小レポートにまとめ提出する。
第15回	授業の総括	(学修内容) 授業全体の振り返りを行います。  (事前事後学修課題の内容) (60分) 授業内容をまとめる。

授 業 名	京都文化特論 (伝統芸能)			開 講 学 年	2回生	単 位 数	2単位	科 目 コ ー ド	
英 文 名				開 講 時 期	秋学期		必 修 選 択	選 択	
担 当 者	工藤 美和子			対 象 学 生	歴史2回生				
授業の概要	日本の伝統芸能の歴史をたどりながら、京都で誕生した芸能の歴史とその時代ごとの文化の特徴を知り、伝統芸能に慣れ親しんでいきます。								
学 修 成 果 到 達 目 標	1) 日本の伝統芸能の知識を得ることができる。 2) 京都で生まれた伝統芸能を学ぶことで、京都の歴史と文化の知識を深めることができる。 3) 伝統芸能について説明することができる。								
学位授与の 方針との関連		知識・理解				汎用的技能			
		態度・志向性				総合的な学習経験と創造的思考力			
アクティブ・ ラーニング 対象授業	P B L 実習・フィールドワーク		ディスカッション・ディベート I C T活用(双方向型授業)		グループワーク I C T活用(自主学習支援)		プレゼンテーション		
評 価 方 法	定期試験 ( 80 % )	筆記試験 口述	レポート 実習	制作物 実技	平常試験 ( 20 % )	筆記試験 口述	レポート 実習	制作物 実技	
評 価 基 準	主たる評価の 観点	知識・理解 授業態度・参加意欲		コミュニケーション能力 (	プレゼンテーション能力 )	課題発見・解決能力 (			
テ キ ス ト	特に指定しません。授業内にて資料を配付します。								
参 考 書	授業内で指示します。								
課題に対する フィードバック の方法	提出されたレポートはコメントを付けて返却します。								
留 意 事 項	伝統芸能の催しなど随時紹介するので、できるだけ足を運んでください。								
オ フ ィ ス ア ワ ー	研究室に日時を貼付するので確認してください。								
実践的教育									

授業名	京都文化特論（伝統芸能）	
授業計画	学修項目	学修内容・課題
第1回	ガイダンス	（学修内容）授業の進め方について説明します。 （事前事後学修課題の内容）（30分） 授業のまとめをしておく。
第2回	アジア諸国と日本の芸能	（学修内容）アジア諸国から伝来した芸能と日本に与えた影響について学びます。 （事前事後学修課題の内容）（60分） 事前に配布資料に目を通し、事後、授業内容や配付資料をもとに各自ノートをまとめる。
第3回	古代日本と伝統芸能 神楽	（学修内容）神楽を学びます。 （事前事後学修課題の内容）（60分） 神楽について辞書等を用いて調べる。
第4回	古代日本と伝統芸能 雅楽	（学修内容）雅楽の伝来と展開を学びます。 （事前事後学修課題の内容）（60分） 雅楽について辞書等を用いて調べる。
第5回	古代京都と伝統芸能 舞楽	（学修内容）舞楽の伝来と展開を学びます。 （事前事後学修課題の内容）（60分） 舞楽について辞書等を用いて調べる。雅楽と舞楽について小レポートにまとめ提出する。
第6回	中世京都と伝統芸能 散楽と猿楽	（学修内容）散楽と猿楽を学びます。 （事前事後学修課題の内容）（60分） 散楽と猿楽について辞書等を用いて調べる。
第7回	中世京都と伝統芸能 能楽と「鶴」	（学修内容）能楽の誕生と展開を学びます。また京都を舞台にした能楽「鶴」を紹介します。 （事前事後学修課題の内容）（60分） 能楽について辞書等を用いて調べる。
第8回	中世京都と伝統芸能 狂言と「栗田口」	（学修内容）狂言の誕生と展開を学びます。また京都を舞台にした狂言「栗田口」を紹介します。 （事前事後学修課題の内容）（60分） 狂言について辞書等を用いて調べる。
第9回	近世京都の伝統芸能 歌舞伎	（学修内容）歌舞伎の誕生と展開を学びます。 （事前事後学修課題の内容）（60分） 歌舞伎について辞書等を用いて調べる。
第10回	近世京都の伝統芸能 歌舞伎「俊寛」	（学修内容）「俊寛」の内容とゆかりの京都の史跡を紹介します。 （事前事後学修課題の内容）（60分） 「俊寛」について辞書等を用いて調べる。
第11回	近世京都の伝統芸能 門付芸能	（学修内容）門付芸能を学びます。 （事前事後学修課題の内容）（60分） 門付芸能について辞書等を用いて調べる。
第12回	近世京都と伝統芸能 落語の歴史	（学修内容）落語の誕生と展開を学びます。 （事前事後学修課題の内容）（60分） 落語について辞書等を用いて調べる。
第13回	近世京都と伝統芸能 安楽庵策伝と『醒睡笑』	（学修内容）安楽庵策伝の『醒睡笑』について学びます。 （事前事後学修課題の内容）（60分） 近世京都の伝統芸能（歌舞伎・門付芸能・落語）から1つテーマを選び小レポートをまとめ提出すること。
第14回	近代京都と伝統芸能 新京極と芸能興行	（学修内容）新京極と芸能興行を解説し、近代京都の芸能文化について説明します。 （事前事後学修課題の内容）（60分） 新京極について辞書等を用いて調べる。
第15回	授業の総括	（学修内容）授業の振り返りを行います。 （事前事後学修課題の内容）（60分） 授業全体をまとめる。

授 業 名	人物史			開 講 学 年	2回生	単 位 数	2単位	科 目 コ ー ド	
英 文 名	History of Great People			開 講 時 期	秋学期		必 修 選 択	選 択	
担 当 者	新矢 昌昭			対 象 学 生	歴史2回生				
授業の概要	本講義では「敗れた」人物や悲劇の人物について考えたい。そして取り上げる人物を巡る様々な人物を対置させ、「敗れた」人物や悲劇の人物の目指した理想や理念を考える。「敗れた」人物や悲劇の人物に焦点を当てるのは、その人物の持つ可能性や意義を考えることで、多様な歴史観、あるいは現在に通じることを学べるからである。								
学 修 成 果 到 達 目 標	1) 現代に生きるわれわれにとって、取り上げた人物から彼らの時代的な意義を掴むことができる 2) 何故、人々は人物に「共感」するのかを考えることができる 3) 時代と人物との関係を把握することができる								
学位授与の 方針との関連		知識・理解				汎用的技能			
		態度・志向性				総合的な学習経験と創造的思考力			
アクティブ・ ラーニング 対象授業	P B L 実習・フィールドワーク		ディスカッション・ディベート I C T活用(双方向型授業)		グループワーク I C T活用(自主学習支援)		プレゼンテーション		
評 価 方 法	定期試験 ( 85 % )	筆記試験 口述	レポート 実習	制作物 実技	平常試験 ( 15 % )	筆記試験 口述	レポート 実習	制作物 実技	
評 価 基 準	主たる評価の 観点	知識・理解 授業態度・参加意欲	コミュニケーション能力 (	プレゼンテーション能力 )	課題発見・解決能力 (	)			
テ キ ス ト	使用しない。史料を配布する								
参 考 書	講義中に指摘する								
課題に対する フィードバック の方法	配布史料に関する解説、学生への考えにコメントを加える								
留 意 事 項	わからない箇所は、講義後に聞くこと								
オ フ ィ ス ア ワ ー	研究室の扉に掲示する								
実践的教育									

授業名	人物史	
授業計画	学修項目	学修内容・課題
第1回	ガイダンス	(学修内容) 人物史とは何か (事前事後学修課題の内容) (30分) 自身の好きな歴史的人物について調べておく
第2回	人物史の方法	(学修内容) 人物から歴史を考える (事前事後学修課題の内容) (60分) どのような人物が主として取り上げられているのかを高校の教科書から調べておく
第3回	平維盛と重衡	(学修内容) 人物から平氏政権の特徴と滅亡を考える (事前事後学修課題の内容) (30分) 平維盛と重衡の基本的な理解をしておく
第4回	北条高時の悲劇	(学修内容) 高時は本当に愚か者なのか (事前事後学修課題の内容) (30分) 高時について基本的な理解をしておく
第5回	北条高時と鎌倉炎上	(学修内容) 高時の教訓 (事前事後学修課題の内容) (60分) 鎌倉滅亡に至る『太平記』の配布史料を一読しておく
第6回	足利義教ーくじ引き将軍	(学修内容) くじ引き将軍の目指したもの (事前事後学修課題の内容) (30分) 義教についての基礎的な理解をしておく
第7回	足利義教ー恐怖政治	(学修内容) 恐怖政治の理由 (事前事後学修課題の内容) (60分) 歴史的な恐怖政治の共通項について考えておく
第8回	足利義政と日野富子	(学修内容) 富子は悪女なのか (事前事後学修課題の内容) (30分) 足利義政と日野富子についての基礎的な理解をしておく
第9回	日野富子と経済	(学修内容) 富子が目指した幕府 (事前事後学修課題の内容) (60分) 配布史料を読んでおく
第10回	織田信長と本能寺の変ー光秀は犯人なのか	(学修内容) 信長を殺したのは誰か (事前事後学修課題の内容) (30分) 信長と明智光秀の関係の基礎的な理解をしておく
第11回	織田信長と本能寺の変ー黒幕の存在	(学修内容) 信長を殺しを巡る疑わしい人々 (事前事後学修課題の内容) (30分) 自身で黒幕を考えてみる
第12回	豊臣秀次	(学修内容) 秀次は、本当に「殺生関白」なのか (事前事後学修課題の内容) (30分) 秀次についての基本的な理解をしておく
第13回	豊臣秀次、フィールドワーク	(学修内容) 豊臣秀次の墓地の見学 (事前事後学修課題の内容) (30分) 秀次の死についての理解しておく
第14回	幕末の京都を巡る人々ー新撰組	(学修内容) 芹沢鴨は本当に乱暴者なのか (事前事後学修課題の内容) (30分) 幕末水戸藩についての理解しておく
第15回	幕末の京都を巡る人々ー新撰組と会津藩	(学修内容) 会津藩と新撰組。彼らは、何故京都人から嫌われたのか (事前事後学修課題の内容) (30分) 京都守護職を理解しておく

授 業 名	京の年中行事			開 講 学 年	2回生	単 位 数	2単位	科 目 コ ー ド	
英 文 名	Annual Events of Kyoto			開 講 時 期	秋学期		必 修 選 択	選 択	
担 当 者	工藤 美和子			対 象 学 生	歴史2回生				
授業の概要	京都の四季を通じた様々な年中行事について、1月から12月まで月ごとに行われる行事を紹介し、現代にまで続くその歴史的展開と意義を学びます。								
学 修 成 果 到 達 目 標	1) 京都の年中行事を知ることができる。京都の歴史や文化への理解を深めることができる。 2) 京都の年中行事について語ることができる。 3) 伝統文化に親しみ、年中行事の価値を見つめ直し、継承していく大切さを学ぶことができる。								
学位授与の 方針との関連		知識・理解				汎用的技能			
		態度・志向性				総合的な学習経験と創造的思考力			
アクティブ・ ラーニング 対象授業	P B L 実習・フィールドワーク		ディスカッション・ディベート I C T活用（双方向型授業）		グループワーク I C T活用（自主学習支援）		プレゼンテーション		
評 価 方 法	定期試験 ( 80 % )	筆記試験 口述	レポート 実習	制作物 実技	平常試験 ( 20 % )	筆記試験 口述	レポート 実習	制作物 実技	
評 価 基 準	主たる評価の 観点	知識・理解 授業態度・参加意欲		コミュニケーション能力 (	プレゼンテーション能力 )		課題発見・解決能力 ( )		
テ キ ス ト	特に指定しません。授業内で資料を配付します。								
参 考 書	授業内にて指示します。								
課題に対する フィードバック の方法	提出されたレポートはコメントをつけて返却します。								
留 意 事 項	配布された資料は忘失しないよう注意してください。 できるだけ年中行事にふれてみてください。								
オ フ ィ ス ア ワ ー	研究室に貼付するので確認してください。								
実践的教育									

授 業 名		京の年中行事
授 業 計 画	学修項目	学修内容・課題
第1回	ガイダンス	(学修内容) 授業の進め方について説明します。 (事前事後学修課題の内容) (30分) 授業のまとめをしておく。
第2回	年中行事について	(学修内容) 年中行事とは何かについて解説します。 (事前事後学修課題の内容) (60分) 年中行事の意味を辞書等を用いて調べ、小レポートにまとめ提出する。
第3回	正月の行事 修正会	(学修内容) 宮中行事と修正会を学びます。 (事前事後学修課題の内容) (60分) 修正会について辞書等を用いて調べる。
第4回	2月の行事 節分と追儺	(学修内容) 節分と追儺について紹介します。 (事前事後学修課題の内容) (60分) 節分について辞書等を用いて調べる。
第5回	3月の行事 節句とひな祭り	(学修内容) 上巳の節句とひな祭りを学びます。 (事前事後学修課題の内容) (60分) 節句について辞書等を用いて調べ、調べたことを小レポートにまとめ提出する。
第6回	4月の行事 やすらい祭	(学修内容) 花鎮めの祭礼を学びます。 (事前事後学修課題の内容) (60分) やすらい祭について辞書等を用いて調べる。
第7回	5月の行事 賀茂祭	(学修内容) 賀茂祭を学びます。 (事前事後学修課題の内容) (60分) 賀茂祭について辞書等を用いて調べる。
第8回	6月の行事 夏越の祓	(学修内容) 夏越の祓を学びます。 (事前事後学修課題の内容) (60分) 祓について辞書等を用いて調べる。
第9回	7月の行事 七夕	(学修内容) 七夕の行事を学びます。 (事前事後学修課題の内容) (60分) 七夕について辞書等を用いて調べる。
第10回	8月の行事 五山の送り火	(学修内容) 五山の送り火を学びます。 (事前事後学修課題の内容) (60分) 五山について辞書等を用いて調べる。
第11回	9月の行事 重陽の節句	(学修内容) 重陽の節句と菊慈童を学びます。 (事前事後学修課題の内容) (60分) 菊慈童について辞書等を用いて調べる。
第12回	10月の行事 八瀬童子と赦免地踊り	(学修内容) 八瀬童子と赦免地踊りを学びます。 (事前事後学修課題の内容) (60分) 八瀬童子について辞書等を用いて調べる。
第13回	11月の行事 十夜念仏	(学修内容) 十夜念仏を学ぶ。 (事前事後学修課題の内容) (60分) 十夜念仏について辞書等を用いて調べる。
第14回	12月の行事 正月迎え	(学修内容) 正月迎えの行事を学びます。 (事前事後学修課題の内容) (60分) 京都の正月迎えについて辞書等を用いて調べる。
第15回	授業の総括	(学修内容) 授業のまとめと省察を行います。 (事前事後学修課題の内容) (60分) 授業全体の内容を振り返る。



授 業 名	先端的京都体験			開 講 学 年	1回生	単 位 数	1単位	科 目 コ ー ド	IC1405
英 文 名	Ultramodern Kyoto Experience			開 講 時 期	秋学期	必 修 選 択		選 択	
担 当 者	新矢 昌昭			対 象 学 生	総合文化1回生				
授業の概要	<p>京都は「古都」というイメージがあるが、明治以降、近代化と「古都」の両輪で形成された都市であった。この講義では、この近代化と「古都」の両方に注目し、現代における京都を考えたい。また体験や見学を通して先端的京都を意義を考えていく。そのためにアクティブラーニングを導入する。具体的には、ディスカッション、グループワークなどを実施する</p>								
学 修 成 果 到 達 目 標	<p>1) 近代化と「古都」を考えることができる  2) 先端的京都の意義を理解することができる  3) 「京都らしさ」を考えることができる</p>								
学位授与の 方針との関連	知識・理解			汎用的技能					
	態度・志向性			総合的な学習経験と創造的思考力					
アクティブ・ ラーニング 対象授業	P B L 実習・フィールドワーク		ディスカッション・ディベート I C T活用（双方向型授業）		グループワーク I C T活用（自主学習支援）		プレゼンテーション		
評 価 方 法	定期試験 ( 50 % )	筆記試験 口述	レポート 実習	制作物 実技	平常試験 ( 50 % )	筆記試験 口述	レポート 実習	制作物 実技	
評 価 基 準	主たる評価の 観点	知識・理解 授業態度・参加意欲		コミュニケーション能力 (	プレゼンテーション能力 )	課題発見・解決能力 (			
テ キ ス ト	使用しない、プリントを配布する								
参 考 書	適宜紹介する								
課題に対する フィードバック の方法	配布資料についての解説、発表などにコメントを加える								
留 意 事 項	日常的に京都をどんな町か考えてほしい								
オ フ ィ ス ア ワ ー	研究室の扉に掲示								
実践的教育									

授業名	先端的京都体験	
授業計画	学修項目	学修内容・課題
第1回	ガイダンス	(学修内容) この講義の進め方 (事前事後学修課題の内容) (30分) シラバスを読んでおく
第2回	近代化する京都	(学修内容) 京都の近代化事業について考える (事前事後学修課題の内容) (60分) 配布史料を読んでおくこと
第3回	京都疎水と第四回内国博覧会	(学修内容) 京都の近代化の象徴である疎水と内国博覧会の光と影 (事前事後学修課題の内容) (60分) 配布史料を読んでおくこと
第4回	事前学習	(学修内容) 事前学習の発表と討論 (事前事後学修課題の内容) (60分) レジュメの作成
第5回	フィールドワークー京都疎水	(学修内容) 現地調査 (事前事後学修課題の内容) (60分) レジュメ作成準備
第6回	フィールドワークー柳原銀行記念資料館の見学	(学修内容) 現地調査 (事前事後学修課題の内容) (60分) レジュメ作成準備
第7回	事後学習	(学修内容) フィールドワーク地についての事後発表と討論 (事前事後学修課題の内容) (60分) レジュメの作成
第8回	京都「古都」構想	(学修内容) 岩倉具視の提言 (事前事後学修課題の内容) (60分) 配布史料を読んでおくこと
第9回	「古都」京都はどのように定着したのか	(学修内容) 「古都」京都に寄与した文学、広告 (事前事後学修課題の内容) (60分) 配布資料を読んでおくこと
第10回	修学旅行と京都	(学修内容) 修学旅行の地、京都はどのように定着したのか (事前事後学修課題の内容) (60分) 配布資料を読んでおくこと
第11回	京都のグローバル企業	(学修内容) 先端技術を有する企業の特徴と歴史 (事前事後学修課題の内容) (60分) グローバルな視野に立つ京都の企業を調べておく
第12回	事前学習	(学修内容) 事前学習の発表と討論 (事前事後学修課題の内容) (60分) レジュメの作成
第13回	オムロンの見学	(学修内容) 現地調査 (事前事後学修課題の内容) (60分) レジュメ作成準備
第14回	島津製作所創業記念資料館の見学	(学修内容) 現地調査 (事前事後学修課題の内容) (60分) レジュメ作成準備
第15回	事後学習	(学修内容) フィールドワーク地についての事後発表と討論 (事前事後学修課題の内容) (60分) レジュメの作成